

## ■出品作品目録

No	作品名/Title	制作年	材質/Material	初出展覧会
1	女人群図—I	1975	岩絵具、墨、膠・雲肌麻紙	大学院修了制作展(武蔵野美術大学美術資料図書館)
2	女たち	1978	岩絵具、墨、膠・雲肌麻紙	第5回創画展
3	密(MITSU)	1982	岩絵具、墨、膠・雲肌麻紙	第2回現代の女流画家展
4	生の空間	1985	岩絵具、墨、箔、膠・雲肌麻紙	第12回創画展
5	地への廻廊	1993	岩絵具、墨、膠・雲肌麻紙	今日の日本画—第12回山種美術館賞展—
6	地への顕現	1996	岩絵具、墨、箔、膠・雲肌麻紙	第23回創画展
7	吊された男#00M	2000	岩絵具、墨、布、紙漉、膠・シナベニヤ、楮紙	表現の磁場—日本画の現在(武蔵野美術大学美術資料図書館)
8	吊された男#01K	2001	岩絵具、墨、布、紙漉、膠・シナベニヤ、楮紙	内田めぐり展(キッド・アイラック・アート・ホール)
9	喉から出た声#01T	2001	岩絵具、墨、布、楮紙、紙漉、膠・雲肌麻紙	DOMANI・明日展 2002(安田火災東郷青児美術館)
10	11 秒間、喉から出た声	2002	岩絵具、墨、布、楮紙、膠・麻紙	2002 つくられる平面(コートギャラリー—国立)
11	Continue#051	2005	岩絵具、墨、ベルト、紙漉、膠・麻紙	内田めぐり展—continue—(中京大学アートギャラリーC・スクエア)
12	Continue#052-061	2005-2006	岩絵具、墨、布、紙漉、膠・麻紙	内田めぐり展—continue—(中京大学アートギャラリーC・スクエア)+内田めぐり展 この世でいちばん美しい場所、あるいは—(平塚市美術館)
13	この世でいちばん美しい場所#06M	2006	岩絵具、墨、布、糸、紙漉、膠・雲肌麻紙	内田めぐり展 この世でいちばん美しい場所、あるいは—(平塚市美術館)
14	Drawing	1998	鉛筆、コンテ・紙	
15	Drawing	1998	鉛筆、コンテ・紙	
16	Drawing	2000	鉛筆、水彩、コンテ・和紙	
17	Drawing	1996	鉛筆、木炭、コンテ・和紙	
18	Drawing	2000	鉛筆、木炭、コンテ、アクリル絵具・和紙	
19	Drawing	2002	鉛筆、コンテ、アクリル絵具・和紙	
20	Drawing		鉛筆、オイルパステル、アクリル絵具・ポストパック	
21	Drawing		鉛筆、ピグメント、オイルパステル、膠・ポストパック	
22	Drawing	2003	鉛筆、木炭、アクリル絵具・紙	

## 特集展5 湘南と作家 森田勝と春陽会

会期 2006年12月5日(木)~2007年2月4日(日)/開催日数 49日間

主催他 平塚市美術館

観覧料 一般 200円(160円)/大高生 100円(80円) ※かっこ内は団体料金・小中学生無料・第2、4土曜日高校生無料

担当者 小池光理(当館学芸員)

入場者 2,739人

### 【企画趣旨】

森田勝(もりた・まさる、1904-1944)は宮崎県宮崎市に生まれ東京に転居した後、家族の療養のため茅ヶ崎市に移りました。1922年藤嶺中学校(現在の藤嶺学園藤沢高校)に編入、同級だった原精一と茅ヶ崎に転地療養中だった萬鉄五郎のもとに通い、絵画を学びます。2年先輩の鳥海青児とも親交を深めました。

鳥海、森田、原の3人は油彩画の魅力に惹かれ、1922年に洋画団体・春陽会が設立され萬が客員として参加すると、春陽会に作品を出品、それぞれが春陽会賞を受賞しています。

森田は1926年には東京美術学校に入学し、28年第6回春陽会で初入選。翌29年から6年にわたりおもにパリに滞在。この間、鳥海青児をベルリンに迎え、ともにアルジェやスペインを旅行しました。1935年、滞欧作により第13回春陽会賞を受賞。その後結核の症状が現れ、辻堂に転地療養。1939年春陽会会員。41年鳥海夫妻の媒酌で鳥海夫人の妹后子と結婚。以後軽井沢で療養のかたわら制作を続けました。

アトリエの火災によって作品の大半を焼失し、40歳で結核のため没した森田の仕事はまだ十分に検証されていません。この展覧会では鋭い感性を見せる彼の作品を中心に、鳥海青児、原精一ほか画家と交遊があった春陽会の作家の作品等、約60点をとりあげ、その画家としての姿勢と軌跡を示します。



森田勝 矢車草

## ■関連事業

### ●団体向けレクチャー(計5回、5日間、参加者約 230 人)

- 12月6日(水) アート21(平塚市市民センターの油絵のサークル)
- 12月13日(水) 横浜市立都田小学校、横浜市立北山田小学校
- 12月26日(火) 葉山エスポワール会(葉山在住の美術愛好家団体)11:00~12:00
- 1月14日(日) わたしたちの絵画展ギャラリーツアー(小中学生)
- 2月2日(金) 神奈川県立茅ヶ崎養護学校

## ■紹介記事・番組等

- 12月13日(水) 丸山孝「平塚市美術館の収蔵品紹介 洋画家森田勝 デッサン初公開 日本画など寄託作品も」  
神奈川新聞

## ■出品作品目録

NO	作家名	ローマ字	生没年	タイトル	制作年	技法・材質
1	萬鉄五郎	Tetsugoro Yorozu	1885-1927	雲と裸婦		油彩・キャンバス
2	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	鶴沼の道	1929年	鉛筆・紙
3	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	茅ヶ崎海岸	1929年	鉛筆・紙
4	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	鳥海青児	1927年	鉛筆・紙
5	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	原精一	1927年	鉛筆・紙
6	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	矢車草	1929年	油彩・キャンバス
7	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	花	1929年	油彩・キャンバス
8	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	原精一	1927年	鉛筆・紙
9	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	自画像	1927年	鉛筆・紙
10	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	原精一による森田勝	1928年	鉛筆・紙
11	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	頬杖をつく女	1927年	鉛筆・紙
12	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	踊り子	1929年	鉛筆・紙
13	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	アコーディオンを弾く男	1929年	インク・紙
14	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	塔のある風景	1929年	水彩、鉛筆・紙
15	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	風景	1927年	水彩、鉛筆・紙
16	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	庭	1927年	水彩、鉛筆・紙
17	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	室内	1927年	水彩、鉛筆・紙
18	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	自画像	1929年	鉛筆・紙
19	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	北海道風景	1928年頃	鉛筆・紙
20	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	男の顔(森田勝)	1929年	鉛筆・紙
21	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	風景	1930年	油彩・キャンバス
22	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	街(フランス)	1930年	油彩・キャンバス
23	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	アルジェ風景	1931年	油彩・キャンバス
24	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	女の顔(女)	1933年頃	油彩・キャンバス

25	木村 莊八	Kiura Shohachi	1893-1958	ギター弾く男(鳥海青児)	1930年	油彩・キャンバス
26	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	シベリア駅路の雪	1930年	油彩・キャンバス
27	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	グーベルヌマン広場	1932年	油彩・キャンバス
28	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	アルジェ風景	1932年	油彩・キャンバス
29	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	蘇州風景	1939年	油彩・キャンバス
30	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	天津のフランス寺院	1942年	油彩・キャンバス
31	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	ピカドール(1)	1931年	鉛筆、パステル・紙
32	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	ピカドール	1958年	油彩・キャンバス
33	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	闘牛	1958年	鉛筆・紙
34	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	闘牛士(4)	1958年頃	鉛筆、パステル・紙
35	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	ピカドール(4)	1958年頃	パステル、インク・紙
36	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	ピカドール	1929年	鉛筆・紙
37	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	闘牛	1929年	鉛筆・紙
38	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	アトリエ	1933年	水彩、鉛筆・紙
39	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	アトリエ	1933年	水彩、鉛筆・紙
40	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	黄色い人	1956年	油彩・キャンバス
41	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	メキシコのスイカ	1961年	油彩・キャンバス
42	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	根来瓶子と果物	1971年	油彩・キャンバス
43	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	裸婦	1927年	コンテ・紙
44	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	裸婦	1927年	コンテ・紙
45	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	裸婦	1927年	コンテ・紙
46	森田 勝	Masaru Morita	1904-1944	裸婦	1930年	鉛筆・紙
47	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	裸婦	1949年	油彩・キャンバス
48	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	二人の浴女	1949年	油彩・キャンバス
49	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	二人の浴女	1949年	油彩・キャンバス
50	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	裸婦	1949年	油彩・キャンバス
51	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	裸婦	1949年	油彩・キャンバス
52	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	裸婦	1928年	油彩・板
53	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	裸婦(横たわる)	1926~30年	油彩・キャンバス
54	鳥海青児	Seiji Chokai	1902-1972	裸婦	1928年頃	油彩・キャンバス
55	椿 貞夫	Sadao Tsubaki	1896-1957	鶴沼風景	1921年	油彩・キャンバス
56	岸田劉生	Ryusei Kisida	1891-1929	石垣ある道	1921年	油彩・キャンバス
57	山本 鼎	Kanae Yamamoto	1882-1946	国府津海浜より箱根連峰を望む	1936年	油彩・キャンバス
58	原 精一	Seiichi Hara	1908-1986	桐生風景	1927年	油彩・キャンバス
59	木下公男	Kimio Kinoshita	1910-	エレファントの村	1979年	油彩・キャンバス

## 特集展6 平塚市美術館 新収蔵品展2

会期 2006年4月1日(土)～2006年5月28日(日) 開催日数 49日間  
主催 平塚市美術館  
観覧料 一般 200円(160円)／大高生 100円(80円) ※かっこ内は団体料金・小中学生無料・第2,4土曜日高校無料  
担当者 森岩恒明(当館学芸員)  
入場者 2,739人

### 【企画趣旨】

2006年4月に開催した新収蔵品展1につづき、2004年度・2005年度に新たに収蔵された作品を紹介した展覧会。とくに麻田鷹司、松林桂月、岡本秋暉、斎藤典彦など、前回出品できなかった日本画の作品を中心に展示しました。麻田鷹司は、地元コレクターから寄託をうけた34点の中から、開催時期にあわせて冬をテーマにしたものなど。松林桂月の作品は、その当時厚木に住んでいた寄贈者宅へ逗留した際に揮毫したといういわれのあるものです。このほか江戸時代後期の小田原藩・大久保家に藩士として仕え、花鳥画を得意とした岡本秋暉、現在活躍中の日本画家中野嘉之、平塚在住の斎藤典彦など、江戸時代から現代までの多彩な31点を紹介しました。



松林桂月《秋江晚眺図》 当館蔵

### ■関連事業

#### ●団体向けレクチャー

○1月14日(日) わたしたちの絵画展ギャラリー・ツアー(小中学生) 2回開催。参加者 20人

### ■紹介記事・番組等

○12月13日(水)丸山孝「平塚市美術館の収蔵品紹介 洋画家森田勝 デッサン初公開 日本画など寄託作品も」  
神奈川新聞

## ■出品作品目録

作家名	生没年	作品名	制作年	材質	所蔵
岡本 秋暉	1807-1862	桜に小禽図	1862年	絹本着色	当館寄託
松林 桂月	1876-1963	山陽外史詩意並桂月印譜	不詳	紙本淡彩	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	水墨竹	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	水墨蘭	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	水墨梅	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	水墨菊	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	山村雪霽図	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	夏山雨後図	1945年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	春溪汲水図	1939年	絹本着色	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	秋江晚眺図	1939年	絹本着色	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	桂月山人五絶	1948年	紙本墨画	当館蔵
松林 桂月	1876-1963	斑田荘招飯席上七絶	1948年	紙本墨画	当館蔵
小野 竹喬	1889-1979	竹図	不詳	彩色・紙	当館寄託
益井 三重子	1910-	俑	1957年	彩色・紙	当館蔵
佐藤 太清	1913-2004	薔薇	1970年頃	彩色・紙	当館寄託
濱田 台児	1916-	舞妓	1990年頃	彩色・金・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	伊豆長津呂(断層)	1958年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	海巖	1959年頃	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	明神岳	1959年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	華巖	1969年頃	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	雪晴	1974年頃	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	竹生島	1973年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	金閣雪景図	1969年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	嵐山	1969年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	嵐山雪景	1969年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	蘇州の甍	1980年	彩色・紙	当館寄託
麻田 鷹司	1928-1987	壁崖	1978年	彩色・紙	当館寄託
中野 嘉之	1946-	潮の風	1972年	彩色・紙	当館寄託
中野 嘉之	1946-	秋の風	不詳	彩色・紙	当館寄託
中野 嘉之	1946-	樹一風の音	1988年	彩色・紙	当館寄託
斎藤 典彦	1957-	Luminous: 内なる光	1999年	彩色・絹	当館寄託

## 特集展 7 湘南と作家 本荘 越

会期 2007年2月8日(木)~2007年4月8日(日) / 開催日数 53日間

主催他 平塚市美術館

観覧料 一般 200円(160円) / 大高生 100円(80円) ※かつこ内は団体料金・小中学生無料・第2,4土曜日高校生無料

担当者 森岩恒明(当館学芸員)

入場者 2,739人

### 【企画趣旨】

本荘越(ほんじょう・たけし、1906-1993)は平塚市根坂間に生まれ、井上三綱や安田靫彦に指導を受け、戦前戦後をつうじて春陽会を中心に活動した洋画家です。師範学校卒業後、大磯尋常高等小学校で教員をつとめ、そのかたわら洋画家の井上三綱に出会い、弟子入ります。1934(昭和9)年、28歳のとき春陽会展で《切株》が初入選し、1943(昭和18)年の第21回春陽会展では、花菖蒲と池を描いた六曲屏風の油彩画《残照》を出品。これ以降、油彩による日本的な表現を追求するようになります。戦後は、東京の画壇から離れて、自然の息吹を感じさせる清澄な風景画、存在感に満ちた静物画を中心に、地元平塚で制作を続けました。また、平塚の美術活動の振興にも尽力した本荘越は、いまでも地域の人々から多くの尊敬を集めています。

戦後に特徴的な静謐な画面と親しみやすい作風は、当館の油彩・素描作品にも数多くみられます。この展覧会では、当館コレクションの中から代表的な油彩・素描あわせて38点を展示し、本荘作品の魅力を紹介しました。



本荘越《大徳寺方丈の土間》当館蔵

### ■関連事業

1●連続レクチャー《平塚の画家・本荘越を語る》全3回 ミュージアムホールとアトリエにて開催

- 第1回:2月11日(日)13:30~15:30 平野博×會田榮一
- 第2回:2月25日(日)13:30~15:30 横尾丈夫×本荘晃
- 第3回:3月4日(日)13:30~15:30 森田英之×小泉久直

2●団体向けレクチャー(全2回2日間、参加者数約100人)

- 2月28日(水) 聖ステパノ学園中学校

■紹介記事・番組等

○2月14日(水) 丸山孝「地元の風景を静かに穏やかに 洋画家本荘昶の作品展」神奈川新聞

■出品作品目録

作品名	制作年	技法
残照	1943年	油彩・紙
山羊小屋	1950年頃	油彩・キャンバス
水源地	1962年	油彩・キャンバス
湖畔春雪	1964年	油彩・キャンバス
脳病院のある丘	1965年	油彩・キャンバス
淡雪	1968年	油彩・キャンバス
大徳寺方丈の土間	1968年	油彩・キャンバス
砂丘晩秋	1969年	油彩・キャンバス
崖壁	1970年	油彩・キャンバス
黄昏	1974年	油彩・キャンバス
葛葉台	1977年	油彩・キャンバス
湖畔早晨	1978年	油彩・キャンバス
山麓の街	1978年	油彩・キャンバス
津久井湖	1980年	油彩・キャンバス
建てる(エチュード)	1982年	油彩・キャンバス
坂道	1982年	油彩・キャンバス
峯	1984年	油彩・キャンバス
那須の荒山	1985年	油彩・キャンバス
朝	1986年	油彩・キャンバス
廃屋(一)	1987年	油彩・キャンバス
廃屋(二)	1987年	油彩・キャンバス
療養所のある丘	1987年	油彩・キャンバス
蓮池早暁	1988年	油彩・キャンバス
丹沢山塊	1990年	油彩・キャンバス
平塚市高根風景	1971年	コンテ・紙
バナナ	1978年	コンテ・紙
泰山木つぼみ	1979年	コンテ・紙
山麓の街	1981年	コンテ・紙
国立療養所	1982年	コンテ・紙
坂道(山腹の町)	1982年頃	コンテ・紙
坂道(坂道のデッサン)	1982年頃	コンテ・紙

建てる	1982 年頃	コンテ・紙
柿	不詳	コンテ・紙
東田原風景	不詳	コンテ・紙
飛鳥風景	不詳	コンテ・紙
梨	不詳	鉛筆・紙
夏 柑	不詳	鉛筆・紙
シャクヤク	不詳	鉛筆・紙

## 特集展 8 所蔵品による屏風絵

会 期 2007年2月8日(土)～2007年4月8日(日) 開催日数 53 日間

主 催 平塚市美術館

観覧料 一般 200 円(160 円)／大高生 100 円(80 円) ※かつこ内は団体料金・小中学生無料・第 2,4 土曜日高校無料

担当者 郡司亜也子(当館学芸員)

入場者 9,050 人

### 【企画趣旨】

屏風は風や人目をさえぎるために立てられる調度で、折り畳み式のため収納・移動に便利であり、設置の方法によってその空間を演出する役割を果たしてきました。絵画をあらわした屏風は中国では漢時代までに、日本でも奈良時代までにはじまりました。平安時代から鎌倉時代にかけては、1 扇あるいは 2 扇ごとにほどこされた縁取りで画面が連続しないものが主流でしたが、室町時代、蝶番(ちょうつがい)の改良で縁取りをほどこす必要がなくなり、画面が完全に連続する形式が一般化して、屏風に四季の景物や名所、物語などさまざまな画題が、絵画としてより自由に描かれるようになりました。屏風を実際に調度として用いることの少なくなった現代でも屏風形式をとった作品は多く発表され、会場での展示効果や表現効果をあげています。

この展覧会では当館の所蔵・寄託作品から岡本秋暉《蝶に孔雀図》、富岡鐵斎《人物図》、河野通勢《桃源郷に遊ぶ人々》、佐藤多持《黄 85》、近藤弘明《幻光—御惑の藤—》、麻田鷹司《鴨東山水図》、中野嘉之《刻》など、江戸時代後期から現代までの多彩な屏風作品 13 点を展示しました。



近藤弘明《幻光—御惑の藤—》

## ロビー展 工芸と彫刻—湘南の器と造形—

会期	2006年12月5日(土)～2007年4月8日(日) 開催日数 102日間
主催	平塚市美術館
観覧料	無料
担当者	勝山滋(当館学芸員)
入場者	ロビー展のため集計なし

### 【企画趣旨】

彫刻では1920年代から1980年までの塑造(ブロンズ)作品のなかから人物像8点を展示しました。近代以降の彫刻は、木彫にくわえ西洋の塑造が並立し、戦前はフランス、戦後はイタリア彫刻の影響をうけながら発展してきました。

保田龍門はブールデルに師事し、日本美術院の堅実な造形表現を引き継いでいます。滞欧作品を見れば、均整のとれた全身像には動きが表現されています。両足の重心の掛け方、頭部と身体のバランスが人体の動きを生み、周りの空気の流れをも感じさせます。龍門、木内克にトルソの作品があります。トルソとはイタリア語で胴を表し、19世紀後半に手足を欠く人体彫刻が発掘されて以後、胴の美を表現するために用いられました。龍門作品はもともと全身像であったものが関東大震災で手足を欠いたもの、木内克作品は、当初からトルソとして制作されました。戦後作品には、南方の美術の影響を感じさせる保田春彦作品、ジャコメッティの影響の色濃い淀井敏夫作品を展示しました。

工芸では、当館所蔵の芝山吉邦、辻協の作品に、賛助出品の小野寺玄作品を加えた10点により、現在の湘南工芸の一端を紹介しました。もともと火山灰から成る湘南地方の土は、陶芸に適しているとはいえませんが、制作に適した環境を求めて多くの作家が活動しています。



保田龍門《ヴィーナス トルソ》当館蔵

### ■出品作品目録

	作家名	よみがな	生没年	作品名	制作年	材質
1	淀井敏夫	よどいとしお	(1911-2005 明治44-平成17)	トレドの羊飼	1967年	ブロンズ
2	保田龍門	やすだりゅうもん	(1891-1965 明治24-昭和40)	裸婦立像	1924年	ブロンズ
3	保田龍門	やすだりゅうもん	(1891-1965 明治24-昭和40)	ヴィーナス トルソ	1920-30年	ブロンズ

4	保田春彦	やすだはるひこ	(1930- 昭和 5-)	島2一習作	1955 年	ブロンズ
5	佐藤忠良	さとうちゅうりょう	(1912- 明治 45-)	ユミ	1988 年	ブロンズ
6	保田龍門	やすだりゅうもん	(1891-1965 明治 24-昭和 40)	F嬢	1945-55 年	ブロンズ
7	清水多嘉示	しみずたかし	(1897-1981 明治 30-昭和 56)	S嬢(寄託作品)	1964 年	ブロンズ
8	木内克	きのうちよし	(1892-1977 明治 25-昭和 52)	手のあるトルソ	1958 年	ブロンズ
9	芝山吉邦	しばやまよしくに	(1936 - 昭和 11-)	樹精	1989 年	陶磁
10				汐の詩	1980 年	陶磁
11				積容	1994 年	陶磁
12				花器	1959 年	陶磁
13	小野寺玄	おのでらげん	(1934- 昭和 9-)	炭化練上花生 里山	1995 年	陶磁
14				炭化練上壺 曠野	1997 年	陶磁
15				炭化練上壺 水平線	1998 年	陶磁
16				炭化象嵌花生 花火	2002 年	陶磁
17				炭化練上 海峡図 花生	2005 年	陶磁
18	辻協	つじきょう	(1930- 昭和 5 年-)	壺 一会	1965-70 年	陶磁

## 展覧会関連 入場料割引制度について

平塚市美術館では観覧料金について、20%割引を20名以上の団体に適用している。

また次の方は無料としている。

① 小中学生 ②市内在住の60才以上の方 ③平塚市民で身体障害者手帳、療育手帳等の交付者と付添者  
また手続きにより無料となる対象の方は次のとおり。

①神奈川県内の高校生およびこれに準ずる者、引率者が教育課程として観覧する場合。

※美術館に連絡し、当日までに美術館で手続きをしてください。

②平塚市内の公民館主催事業による観覧。※美術館に文書でご依頼ください。

### インターネット割引券

割引券をプリントしてお持ちいただくと、当館の企画展、特集展を割引料金でご覧いただけます。

※PDFファイルで提供しています。A5サイズの用紙にプリントしてください。

## I. 美術館主催事業(教育普及)

■教育普及活動について 美術館活動の中心の一つとして開催するもの。教育普及活動のプログラムは、参加者個人の体験を中心にして、美術や美術館について学べるよう、短期のものから長期のものまで企画されている。美術館にとっては、新たな愛好者層の開拓に始まり、美術館活動を理解し支える層の育成を目指している。

## 市民参加型の長期プログラム

### 教育普及1 〈ひと〉ワークショップクラブ(1~4)

●種別他 ワorkshopクラブ 担当:端山聡子(当館学芸員)

#### ●目的等

ワークショップを指導する側になるための人材育成プログラム。一定の研修を受講後に、一般対象あるいは学校と連携した、教育目的のための、ワークショップの開催・指導を行う。美術のワークショップに関わりたい、手伝いたい、企画・運営をしてみたい、また美術を通して人とコミュニケーションをはかりたい等、そのような関心をもつ人のためのボランティア・リーダー育成のためのクラブ。

#### ●開催日時

○2006年4月2日(日)、5月6日(土)、5月20日(土)、5月26日(金)、6月27日(火)、6月28日(水)、7月8日(土)、7月9日(日)、7月11日(火)、7月12日(水)、7月22日(土)、7月28日(金)、7月29日(土)、8月6日(日)、8月11日(金)、8月20日(日)、8月22日(火)、8月24日(木)、8月25日(金)、9月16日(土)、9月18日(月・祝)、9月24日(日)、10月19日(木)、12月6日(水)、12月22日(金)○2007年2月8日(木)、2月9日(金)、2月10日(土)、2月15日(木)、2月23日(金)、2月27日(火)、3月10日(土)

### 教育普及2 日本画の画材—岩絵具を中心に—

京都に花開く日本画展関連ワークショップとして、当館の資料である岩絵具の原石を公開、日本画の絵具についてレクチャーした。聴講者に原石や絵具を手にとりさわってもらい、体験的理解を深めた。

○4月29日(土)は参加者25人。5月5日(金)は参加者28人。

○場所 アトリエB

○無料

○担当:端山聡子(当館学芸員)

### 教育普及3 日本画の画材について

山本丘人展関連ワークショップとして、「日本画の画材について」をレクチャーおよび資料を公開した。今回は日本画の絵具に加え、メディウムである膠を取り上げた。

○11月12日(日)13:30-15:30 ミュージアムホール

○参加者 85人(参加費無料)

○無料

○担当:端山聡子(当館学芸員)

### 教育普及4 湘南美術散歩(1~4)

湘南美術散歩

○日時他 2005年4月~2006年3月/月1回/美術館アトリエで開催

5月12日(■)、6月30日(■)、8月18日(■)、9月15日(■)日、10月20日(■)、11月17日(■)、1月12日(■)、2月2日(■)、3月16日(■)

○活動 近代や現代の作家・作品・展覧会などについて、散歩をするように、気楽に学ぼうというプログラム。湘南の画家や作品をテーマに、当館の所蔵作品を中心に学び、展覧会も見学。各参加者が自分の見てきた展覧会レポートなどを発表し、各自情報や意見交換もおこなった。

○参加者 100人

○担当:端山聡子(当館学芸員)

●湘南美術散歩見学会 リーダー:端山聡子(当館学芸員) 日数:計3回 各日9:00~17:00

○6月3日(土):金沢文庫・川合玉堂別邸

○7月25日(火):伊豆の国市個人宅(モザイクタイルの床、壁作品)・平賀敬美術館

○11月24日(金):府中市美術館・中村研一記念館

○参加者80人(参加費、実費)

○担当:端山聡子(当館学芸員)

## 教育普及5 ヨーロッパの古典技法・モザイク

○種別他 ワークショップ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○日時他 2006年5月14日(日)、5月28日(日)、6月11日(日)、6月25日(日)、7月17日(月・祝)、7月30日(日)、8月6日(日)の計7日間 各日13:00~16:00 アトリエにて開催

○活動 古代ヨーロッパ、ローマやビザンチン時代に盛んに製作された大理石を使ってつくる古典技法のモザイク画製作を体験しました。

○参加者 70人(参加費3000円)

## 教育普及6 絞りの世界—インド藍による染め—

○種別他 ワークショップ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○日時他 2006年5月26日(金)、6月9日(金)、6月23日(金)、7月7日(金)、7月28日(金)、8月11日(金)の計6日間 ○時間他 各日13:00~16:00 アトリエにて開催。

○講師 安藤宏子(染織家)

○活動 絞りにさまざまな方法がありますが、その中でも日本の伝統的な絞り技法をとりあげ、文様を鑑賞し、その多様さを制作で体験しました。

○参加者 約120人(参加費3000円)

## 教育普及7 透かし葉をつかってつくるサンキュー・カード

○種別他 子どものワークショップ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○日時他 2006年9月18日(月・祝)

○時間他 13:00~16:00 アトリエにて開催。

○講師 烏脇信雄、林克己(〈ひと〉ワークショップクラブ・メンバー)

○活動 ヒイラギの葉っぱで透かし葉をつくり、その葉脈を取り出し、カードを装飾します。贈りたい誰かに宛てて、

メッセージを託したカードを数種類作りました。

○参加者 約 20 人(参加費 600 円)

## 教育普及 8 銅版画の刷り

○講師 木村希八(木村版画工房)

○種別他 公開制作 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○日時他 2006 年 9 月 24 日(日)

○時間他 13:00~16:00 アトリエにて開催。

○活動 所蔵名品展の関連事業としておこなう銅版画の公開制作。銅版画の技術を公開するとともに、刷った作品や資料を持ってきていただき参加者に見せながら、解説した。

○参加者 約 20 人(無料)

○担当 土方明司(当館学芸担当長)、端山聡子(当館学芸員)

## 教育普及 9 湘南の作家入門 本荘越 1・2

○種別他 ワークショップクラブ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○日時他 2006 年 10 月 11 日(水)、10 月 18 日(水)、11 月 1 日(水)、11 月 15 日(水)、11 月 29 日(水)、12 月 5 日(火)、12 月 13 日(水)、2007 年 1 月 10 日(水)、1 月 17 日(水)、1 月 24 日(水)、1 月 31 日(水)、2 月 14 日(水)、2 月 15 日(木)、2 月 28 日(水)、3 月 1 日(木)、3 月 7 日(水)、3 月 8 日(木)、3 月 14 日(水)、3 月 28 日(水)

○時間他 13:00~16:30 アトリエにて開催。

○活動 平塚出身で、当館所蔵の作家でもある本荘越(ほんじょう・たけし)という作家と作品について学びました。

○参加者 約 150 人(無料)

## 教育普及 10 彫刻を探検する

○種別他 ワークショップクラブ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○協力 文化財ボランティア協会

○講師 黒川弘毅(彫刻家、武蔵野美術大学教授)

○日時他 2006 年 10 月 13 日(金)、10 月 27 日(金)、11 月 8 日(水)、11 月 21 日(火)、12 月 6 日(水)、12 月 15 日(金)

○時間他 10:00~16:00 アトリエ、館外にて開催。

○活動 平塚市内の屋外彫刻をフィールドワークで調査しカードを作成しました。12 月 6 日には、彫刻保全について黒川弘毅氏のレクチャーと屋外彫刻の保全作業体験をおこないました。

○参加者 約 60 人(参加費実費)

## 教育普及 11 描いて彩ろう MY マグカップ

○種別他 子どものワークショップ 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)

○講師 井上美枝子、〈ひと〉ワークショップクラブ・メンバー

○日時他 2007 年 2 月 10 日(土)

- 時間他 13:00～16:00 アトリエBにて開催。
- 活動 真っ白な磁器のマグカップを磁器専用の絵具を使って彩り、窯を使って描いた模様を焼き付けました。
- 参加者 約10人(参加費1200円)

## 教育普及12 平塚の画家、本荘赴を語る

- 種別他 レクチャー 主催:平塚市美術館 担当:端山聡子(当館学芸員)
  - 活動 連続レクチャー《平塚の画家・本荘赴を語る》全3回 ミュージアムホールとアトリエにて開催
- 生前の本荘赴と親交のあった方々、とくに春陽会、皓晨会(こうしんかい)、平塚市美術館の仕事に関わった方々から、本荘赴との思い出やその作品について、お話をうかがいました。
- 第1回:2月11日(日)13:30～15:30 平野博×會田榮一
  - 第2回:2月25日(日)13:30～15:30 横尾丈夫×本荘晃
  - 第3回:3月4日(日)13:30～15:30 森田英之×小泉久直
  - 参加者 約100人(無料)

## 教育普及13 依頼事業1:藍染め体験

- 種別他 ワークショップ依頼事業 担当:端山聡子(当館学芸員)
- 参加者 神奈川県立平塚養護学校
- 日時他 2006年7月11日(火)
- 時間他 10:00～12:00 アトリエB
- 活動 木綿の布に、絞りによる藍染をしました。

## 教育普及14 依頼事業2:わたしたちの絵画展 美術館裏側探検ツアー

- 種別他 ワークショップ依頼事業 担当:端山聡子(当館学芸員)
- 参加者 小・中学生 各回20人
- 日時他 2007年1月13日(土)午前・午後の2回開催
- 時間他 10:00～16:00 館内にて開催。
- 活動 都市政策課、都市整備課?、みどり公園課などの各課合同事業として行なわれた「わたしたちの絵画展」に関連するプログラムとして、美術館裏側探検ツアーを2回開催した。

## 教育普及15 依頼事業3:からだの立体コピー

- 種別他 ワークショップ依頼事業 担当:端山聡子(当館学芸員)
- 参加者 神奈川県立平塚養護学校:肢体不自由教育部門小学部2年の児童6名と付添い職員6名
- 日時他 2007年2月9日(金) 10:30～13:30
- 活動 身体の一部(手か足)をペルストンという石膏シートで立体コピーして楽しんだ。

## 教育普及 16 依頼事業 4：湘南の美術を学ぶ

- 種別他 ワークショップ依頼事業 総括担当：端山聡子(当館学芸員)
- 参加者 中央公民館事業「湘南の美術を学ぶ」連続講座参加者
- 日時他 2007年5月17日(水)、6月15日(木)、7月13日(木)、8月3日(木)、8月17日(木) 10:30～13:30

### I. 美術館主催事業(その他)

#### 臨時行事1 ディズニー名作クラシックス「白雪姫」上映会

- 日時等 2006年8月26日(土)/8月27日(日) 各日 16:30～18:00/ミュージアムホールにて開催
- 主催他 平塚市美術館/担当：土方明司(当館学芸担当)
- 特別協力 フェナ・ビスタ・ホーム・エンターテイメント
- 後援 読売新聞社
- 内容 夏休みの子ども向け企画として、2005年千葉大学でディズニーのオリジナル画約200点が45年ぶりに発見されたのになみ開催された展覧会(東京都現代美術館)にあわせて限定生産されたディズニーアニメーションの名作「白雪姫」を特別に上映しました。
- 参加者 約90人(参加費無料)

#### 臨時行事2 美術館テーマホール・コンサート

##### ■企画の目的

より多くの市民に美術館を訪ねてもらえるよう、「親しまれる美術館」活動の一環として、冬のコンサートを企画しました。

- 題名 「冬のコンサート イン ミュージアム—現役芸大生による弦楽四重奏・世界音楽の旅—」
- 日時他 2006年2月24日(土)/14:00 開場/無料
- 演奏者 《ルイーズ・カルテット》ファーストバイオリン：高梨真美/セカンドバイオリン：桑原香矢/ビオラ：高橋梓/夏秋裕一(チェロ)
- 入場者 座席チケットは先着100名に配布。参加者数200人

#### 組織 「平塚市美術館友の会」活動

##### ■歩みと活動状況

2002(平14)年4月に発足。会員は美術館主催事業または連携事業を通じて交流をもち、各自の知識と教養を深め、平塚市の文化芸術の向上に寄与することを目的に設立されました。会員には、年間予定パンフレットや企画展チラシ等を優先して送付。各種催し、会員対象の「友の会」レクチャーの案内をしている。2004(平16)年4月から会員特典を実施。観覧料を特集展では団体料金を適用、企画展は一律100円を減免とした。「友の会」減免利用者は、毎月平均して減免全体の約5%を占めています。

## ■「友の会」会員数

会員数 総計 268 人 ※2007 年 3 月 4 日現在

## ■「友の会」講座（ギャラリートーク）

第 1 回「京都に花ひらく日本画」 担当：郡司亜也子(当館学芸員)/ 6 月 6 日(土)/参加者 30 人

第 2 回「山本丘人展」 担当：勝山滋(当館学芸員)/11 月 18 日(土)/参加者 30 人

## II. 美術館共催事業

### 共催企画 1 第 11 回美術館で聴くセタコンサート

#### ■コンサートの位置づけ

11 回目を迎えたセタコンサートは、地元企業「湘南ステーションビル平塚ラスカ」が組織し、今では格安料金で優れた音楽家の演奏会を楽しめることで、市民によく知られています。平塚市美術館側では、多くの人々に美術館を訪れてもらう機会づくりとしてテーマホールを提供、この企画に協力しています。

○題名 銀河鉄道の夜～オンド・マルトノの世界～

○日時他 2006 年 7 月 9 日(日)/18:00～/テーマホールにて開催

○主催 湘南ステーションビル平塚ラスカ

○後援 平塚市、平塚市文化財団、平塚商工会議所、JR 平塚駅

○演奏 原田節(オンド・マルトノ)、糸賀真知子(ソプラノ)、三遊亭奄楽(語り)、木野雅之・佐份利恭子(ヴァイオリン)、須田祥子(ヴィオラ)、三宅進(チェロ)、赤城忠治(ギター&パーカッション)、山口佳代(ピアノ)

○参加者 約 245 人

### 共催企画 2 第 28 回平塚市展

平塚市美術館が開館した 1991 年に、平塚市展は第 14 回展を美術館の展示室と市民アートギャラリーを使用して開催、以降毎年、同施設を利用して開催している。

○主催 平塚市展委員会

○会期 6 月 11 日(日)～6 月 25 日(日)/開催日数 15 日間

○会場 美術館展示室 I と市民アートギャラリーにて開催

○協力 平塚書道協会/平塚工芸部門/平塚美術家協会/平塚写真連盟/平塚市教育委員会

○後援 平塚市 /平塚市文化連盟 /平塚商工会議所 /湘南ケーブルネットワーク /FM 湘南

○入場者 6,982 人

### Ⅲ. 研究活動と作品広報活用

#### 研究 講演・発表等

- 研究会 全国美術館会議資料情報研究部会
- 日時他 2006年11月10日(金)13:00-17:00
- 主催 全国美術館会議資料情報研究部会
- 招聘者 端山聡子(当館学芸員):館蔵資料(原精一寄贈資料)の整理と公開について

- 研究会 シンポジウム 相模原の美術館を考えよう
- 日時他 2007年3月11日(日)
- 主催 相模原の美術館を考える会
- 招聘者 端山聡子(当館学芸員):平塚市美術館の成り立ちについて

- 研究会 美術館ボランティアの現況と理念
- 日時他 2007年3月29日(木)、30日(金)
- 主催 全国美術館会議学芸員研修会
- 招聘者 グループディスカッション・ファシリテーター 端山聡子(当館学芸員)

### Ⅳ. 実習・研修・視察・見学等の受け入れ

#### 実習1 博物館実習

- 時期 2006年5月~2007年3月頃/断続的に総計15日間実施(共通講義3日間/実習12日間)
- 主催他 各11申請大学/平塚市美術館/総括担当:端山聡子(当館学芸員)
- 内容他 実習生11人(詳細は下記の通り):担当学芸員の指導のもと美術館の学芸活動全般を体験。

1. 黒石千恵子	女子美術大学絵画学科日本画専攻4年	担当:勝山
2. 垣内康平	東京工芸大学芸術学部アニメーション学科3年	担当:土方
3. 見波麻紀子	女子美術大学絵画学科日本画専攻4年	担当:土方
4. 五十嵐馨	横浜美術短期大学造形美術学科クラフトデザイン2年	担当:端山
5. 濱中美音	聖心女子大学文学部哲学科4年	担当:端山
6. 中嶋啓行	和光大学人間関係学部人間関係学科3年	担当:端山
7. 角谷沙奈美	女子美術大学大学院美術研究科美術専攻2年	担当:端山
8. 池上久美	多摩美術大学絵画学科油絵専攻4年	担当:端山
9. 高野早可	和光大学表現学部芸術学科3年	担当:端山
10. 下山杏里	昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科4年	担当:郡司・森岩
11. 小宮果林	東海大学文学部文芸創作学科4年	担当:郡司・森岩

## 研修1 新入社員を対象とした研修

- 参加者 湘南ステーションビル「平塚ラスカ」新規学卒女性社員と男性出向社員 約10人  
○日時他 4月7日(木) 美術館の仕事レクチャー、施設見学と常設展鑑賞。担当:郡司亜也子(当館学芸員)

## 研修2 神奈川県内の生徒を対象とした研修・全4回

○日時、参加者他

- 7月4日(火) 湘南学園中学校 11人/担当:端山聡子(当館学芸員)  
7月13日(木) 神奈川県立大磯高校 19人(総合的な学習の時間) /担当:郡司亜也子(当館学芸員)  
7月25日(火) 神奈川県立大原高校 5人(職場訪問) /担当:小澤和孝(当館管理担当長)  
9月27日(水) 神奈川県立総合高校 13人(体験学習) /絵本展をテーマにした鑑賞教育 /担当:端山聡子

## 研修3 JICA 海外研修員の受入れと滞在プログラムの実施

### ●専門研修員名

- ①Ms.Ximena Munoz Perry(ヒメナ)さん:コロンビア伝統衣装博物館デザイン部門コーディネーター  
②Ms. Liliana Sanchez Rojas(リリアナ)さん:コロンビア国立博物館教育部指導員

●研修期間 2007年7月9日(日)~14日(金)の6日間

### ●滞在日程

○7月11日(火)9:30~12:00 平塚養護学校(肢体不自由児)が、美術館でワークショップを受講するため訪れた際に交流。○7月12日(水)13:00~14:00 江陽中学校の授業見学。○7月13日(木)14:30~17:00 美術館において英語によるレクチャーとワークショップ①コロンビア伝統衣装博物館の教育プログラム②コロンビア国立博物館の紹介  
○7月14日(金)10:30~13:00 崇善小学校3年生、「総合的な学習の時間」の授業に参加。

### ●研修趣旨

国際協力機構(略称:JICA、ジャイカ・外務省の外郭団体)の招きで、日本に4ヶ月留学している非西洋地域の博物館専門家10名の中から、コロンビアのMs.Ximena Munoz Perry(ヒメナさん)およびMs. Liliana Sanchez Rojas(リリアナさん)が研修の一環として平塚市博物館と美術館で6日間研修し、地域博物館の教育活動について学びました。昨年はエリトリア、ベトナム、エジプトからの専門家の滞在がありました。今回で5回目の受け入れとなりました。

研修員はそれぞれミュージアムの管理運営および教育的な役割について学びました。彼らの滞在には博物館・美術館の協力者達が尽力し、通訳をはじめ多くのボランティアがこの研修に関わりました。美術館での研修は、七夕関連のワークショップに参加し、浴衣姿で茶の湯を体験するとことを通じて日本の文化や生活について学んでもらいました。また学ぶばかりでなく、市内の崇善小学校、山城中学校を訪問し、彼らの国の文化・芸術についての授業を行いました。

### ●主催他

- JICA(ジャイカ=国際協力機構) / 平塚市博物館と平塚市美術館の共同受け入れ事業  
○美術館側担当:森岩恒明、端山聡子(当館学芸員) ※JICA・国立民俗学博物館・琵琶湖博物館からの依頼による。

## 研修4 大磯町教育研究所図工部会

- 日時、参加者他 7月25日(火) 大磯町教育研究所図工部会 7人  
○テーマ、担当他 「美術観賞教育について」 担当:土方明司(当館学芸担当長)

## 研修5 神奈川県立総合教育センター

- 日時、参加者他 8月10日(木) 9:30~16:30: 神奈川県総合教育センター  
○テーマ、担当他 「美術の題材研究1~観賞学習の工夫(中高等学校)」 担当:端山聡子(当館学芸員)

## 研修6 多摩美術大学

- 日時、参加者他 11月12日(木) 多摩美術大学博物館学I受講生 約60人  
○テーマ、担当他 担当:端山聡子、勝山滋(当館学芸員)  
「日本画の画材について」に参加した後、「教育普及について」のレクチャー受講と山本丘人展のレクチャー及び観賞

## 視察1 座間市教育委員会

- 日時、参加者他 8月1日(火) 13:00~15:00:座間市教育委員会 約12人  
○テーマ、担当他 「美術館と市民・地域の関わりについて」 担当:森岩恒明(当館学芸員)

## 視察2 秦野市役所 健康推進課

- 日時、参加者他 11月22日(水)10:00~11:30 秦野市健康推進員 32人  
○テーマ、担当他 平塚市健康推進員と交流後、美術館視察 担当:勝山滋(当館学芸員)

## 見学

### 4月

- 医療法人財団青山会みくるべ病院 43人:4月20日(木)13:00~  
○テーマ、担当他 展覧会観賞とレクチャー

### 5月

- 平塚市好会 50人:5月9日(火)13:30~  
○展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:草薙奈津子(当館館長)  
●公民館(「崇善公民館」「松原公民館」「富士見公民館」「大神公民館」)20人:5月18日(木)14:00~16:00  
○展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:郡司亜也子(当館学芸員)  
●神奈川県都市収入役会 45人:5月23日(火)15:30~  
○展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:郡司亜也子(当館学芸員)  
●婦人会:5月24日(水)

- 展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:郡司垂也子(当館学芸員)
- 公民館(「岡崎公民館」「土屋公民館」「神田公民館」「藤沢市立明治公民館」):5月25日(木)13:30~15:30
- 展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:郡司垂也子(当館学芸員)
- 平塚市立山城中学校:5月28日(日)
- 展覧会観賞とレクチャー(京都に花ひらく日本画) 担当:郡司垂也子(当館学芸員)
- 6月**
- 茅ヶ崎市立香川公民館:6月13日(火)
- 施設見学とレクチャー、展覧会観賞(七夕展) 担当:森岩恒明(当館学芸員)
- アメリカ姉妹都市ローレンス市:6月22日(木)
- 施設見学とレクチャー、展覧会観賞(七夕展) 担当:勝山滋(当館学芸員)
- 7月**
- 平塚友好都市高山市の市民団体 40人:7月6日(木)15:00~
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展)
- 平塚適応教室:7月12日(水)
- 展覧会観賞とレクチャー(七夕展) 担当:端山聡子(当館学芸員)
- 伊勢原市小学校教育研究会:7月26日(水)9:00~12:00
- 展覧会観賞とレクチャー(七夕展) 担当:森岩恒明(当館学芸員)
- 8月**
- 平塚市立神田公民館:8月17日(木)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- 公民館(「大野公民館」「八幡公民館」「四之宮公民館」「中原公民館」「松が丘公民館」「大原公民館」「南原公民館」)  
39人:8月19日(土)10:00~12:00
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- キングタイガー子供会 17人:8月22日(火)10:00~12:00
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- 公民館(「崇善公民館」「松原公民館」「なでしこ公民館」「富士見公民館」) 46人:8月24日(木)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:端山聡子(当館学芸員)
- 入月アトリエ 20人:8月30日(水)11:00~13:00
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)☑
- 9月**
- 彩の会:9月5日(火)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- 南原保育園 15人:9月5日(火)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:勝山滋(当館学芸員)
- 大神保育園:9月6日(水)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- 神奈川県立大磯高等学校:9月7日(木)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)
- 神田公民館、みずほ小学校:9月13日(水)
- 展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)

●大神公民館 20人:9月21日(木)10:00~12:00

○展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)

●どんどこどん かさまおはなしのかい 7人:9月28日(木) 10:30~11:00

○展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)

●よこすか文庫連絡会 15人:9月29日(金)11:00~12:30

○展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)

●小田原市立矢作小学校:9月29日(金)

○展覧会観賞とレクチャー(絵本原画展) 担当:土方明司(当館学芸担当長)

10月

●島田市書道連盟 41人:10月1日(土) 10:00~11:00

○施設見学とレクチャー、展覧会観賞 担当:郡司亜也子(当館学芸員)

●小田原市小学校教頭会運営部 28人:10月5日(木)14:10~15:30

○施設概要レクチャー、展覧会観賞 担当:郡司亜也子(当館学芸員)

●四之宮公民館:10月26日(木)

○施設概要レクチャー、展覧会観賞 担当:郡司亜也子(当館学芸員)

11月

●公民館(「崇善公民館」「松原公民館」「なでしこ公民館」「富士見公民館」「平塚市立神田小学校」)約64人

11月9日(木)10:00~12:00

○レクチャーと展覧会観賞(山本丘人展) 担当:勝山滋(当館学芸員)

●小田原市小学校教頭会 22人:11月10日(金)

○施設見学とレクチャー、展覧会観賞(山本丘人展) 担当:勝山滋(当館学芸員)

●平塚市立豊田小学校:11月10日(金)

○施設見学とレクチャー、展覧会観賞(山本丘人展) 担当:勝山滋(当館学芸員)

●平塚市立岡崎公民館 20人:11月16日(木) 10:00~10:30 ※美術観賞講座のプログラム

○展覧会観賞とレクチャー(山本丘人展) 担当:勝山滋(当館学芸員)

●秦野公衛会:11月22日(水)

○施設見学とレクチャー、展覧会観賞(山本丘人展) 担当:勝山滋(当館学芸員)

12月

●アート21 約20人:12月6日(水) 10:00~12:00 ※平塚市民センター油絵のサークル

○展覧会観賞とレクチャー 担当:小池光理(当館学芸員)

●横浜市立都田小学校、横浜市立北山田小学校:12月13日(水)

○展覧会観賞とレクチャー 担当:小池光理(当館学芸員)

●葉山エスポワール会 11人:12月26日(火) 11:00~12:00 ※葉山町にすむ絵画愛好家の会

○展覧会観賞とレクチャー 担当:小池光理(当館学芸員)

1月

●秦野ぶらり会:1月7日(日) 11:00~12:20 ※平塚の史跡・遺構の勉強会

○展覧会観賞とレクチャー

2月

●神奈川県立茅ヶ崎養護学校:2月2日(金)

○展覧会観賞とレクチャー 担当:勝山滋(当館学芸員)

- 藤沢市湘南大庭公民館(高齢者学級「実りの会」)約 42 人:2 月 13 日 12:10~
- 藤沢市湘南大庭公民館(高齢者学級「実りの会」)約 32 人:2 月 27 日 12:10~  
○施設見学(レクチャー無し)
- 聖ステパノ学園中学校 58 人:2 月 28 日(水) 13:30~15:30  
○展覧会観賞とレクチャー 担当:森岩恒明(当館学芸員)

### 3月

- 神奈川県立平塚養護学校:3 月 1 日(木)  
○展覧会観賞とレクチャー 担当:小池光理(担当学芸員)

## V. 作品と資料の管理(保存・修復)

### 保存修復 1 所蔵絵画作品の修復

#### ■修復作品 1 鳥海青児《インカの石街》/制作年不詳/油彩・キャンバス/サイズ 49.9×60.9cm

現 状:支持体(画布)に変形があるが、針の状態は良好。厚塗りの絵具層(とくに緑、茶の絵具部分)に集中して剥離がある。

修 復:①作品状態調査・現状の撮影 ②作品表面の剥離止め ③作品洗浄 ④充填、補彩⑤額装裏板交換 ⑥報告書作成

#### ■修復作品 2 井上三綱《顔》/制作年不詳/油彩・キャンバス/サイズ 32.9×24.2cm

現 状:全体に傷みが激しく、亀裂、剥離、欠損が多く認められる。よごれが付着し、全体に画面が白濁している。

支持体:地塗りの劣化が激しい。固定用の釘がかなり劣化している。

絵画層:画面に多くの亀裂が生じており、剥離や欠損も認められる。赤茶系の絵の具の一部は劣化により粉状になっており、非常に脆弱である。

修 復:①作品状態調査・現状の撮影 ②表面の剥離止め ③画布裏面の洗浄 ④支持体矯正、側面耳部補強 ⑤張り込み  
⑥作品洗浄 ⑦補彩 ⑧報告書作成

### 保存修復 2 彫刻と立体のメンテナンス

平成 18 年度は例年通り、以下の彫刻・立体 6 点について、酸性雨水による腐食防止のための保存処理を行った。

作家名	作品名	素材	サイズ(cm)	メンテナンス
1 ホセ・テ・リヴェラ	《コンストラクション#115》	ステンレススチール	612.0×853.0×912.0	本体のクリーニングと回転部メカニズムの保守点検
2 保田春彦	《赤錆の幕舎》	COR-TEN鋼	257.0×296.0×209.0	グランドライン設置面の腐食防止メンテナンス
3 佐藤忠良	《緑》	ブロンズ	190.0×80.0×70.0	洗浄後、ワックス塗布
4 舟越保武	《海の顕彰碑 渚》	ブロンズ	194.0×60.0×50.0	洗浄後、ワックス塗布
5 柳原義達	《座る女》	ブロンズ	71.0×100.0×45.0	洗浄後、ワックス塗布
6 淀井敏夫	《海》	ブロンズ	340.0×230.0×90.0	洗浄後、ワックス塗布

## 保存修復 3

## 収蔵庫虫害調査(虫害モニタリング)

○日時他 2007年(平 19)4月20日～5月10日/担当:勝山滋(当館学芸員)

○場所 美術館収蔵庫Ⅰ・Ⅱと特別収蔵庫の3ヶ所で調査

○報告 目視調査と粘着トラップ(採取器)による調査

上記の調査二つを併せて行った。収蔵庫Ⅰの床に設置したトラップは次のとおり:ゴキブリ用粘着トラップ 8個、ジンサンシバンムシ用フェロモントラップ(FUJI TRAP S.PANICEUM)8個、タバコシバンムシ用トラップ(NEW SERRICO)8個の総計24個。収蔵庫Ⅱと特別収蔵庫には、ゴキブリ用、ジンサンシバンムシ用、タバコシバンムシ用トラップを各1個ずつ配置。

目視調査は床、棚、作品を懐中電灯で照らし、昆虫やその死骸、脱皮殻、虫糞、食痕の有無等を調べた。トラップも目視調査実施と同日に設置、20日後の5月10日に回収した。目視調査の結果、生きた昆虫はもとより、その死骸や脱皮殻などは認められなかった。

本収蔵庫2階のトラップからタマバエ科の昆虫が捕獲された。特別収蔵庫では昆虫類は捕獲されなかった。現時点ではヒラタチャタテの繁殖は考えられず、くん蒸や薬剤処理等を行わずに済むよう、今後も湿度管理を徹底することとした。

## V. 作品と資料の管理(収集・貸出)

### 作品管理 1 新規収蔵作品一覧

■平成18年度の収蔵作品は、寄贈30点、寄託32点の計62点。作品分類別内訳は下表の通り。

収蔵経緯	登録部門							計
	日本画	洋画・素描	版画	彫刻・立体	工芸	書	写真	
購入	0	0	0	0	0	0	0	0
寄贈	13	12	0	5	0	0	0	30
移管替	0	0	0	0	0	0	0	0
寄託	25	7	0	0	0	0	0	32
計	38	19	0	5	0	0	0	62

### ■寄贈作品一覧

作家名	作品名	作品制作年	作品寸法(mm)	作品材質
足立源一郎	城ヶ島遠望 毘沙門の浜にて	1964(昭和39)年	222*275	油彩・キャンバス
足立源一郎	戸塚カントリー1	1968(昭和43)年	274*351	油彩・キャンバス
足立源一郎	戸塚カントリー2	1968(昭和43)年	274*350	油彩・キャンバス
上野泰郎	人物と葉	1952(昭和27)年	620*910	彩色・紙
上野泰郎	東邦の人々	1967(昭和42)年	1650*2610	彩色・紙
上野泰郎	さすらう	1976(昭和51)年	2700*2060	彩色・紙
内田あぐり	吊された男#01K	2001(平成13)年	2400*4800	彩色・紙
大河内信敬	凝視	1938(昭和13)年	1170*910	油彩・キャンバス

大河内信敬	春雪の森	1962(昭和 37)年	729*910	油彩・キャンバス
大河内信敬	不詳(松林)	不詳	612*730	油彩・キャンバス
大河内信敬	不詳(ばら)	不詳	530*455	油彩・ボード
大河内信敬	不詳(松林)	不詳	730*910	油彩・キャンバス
川瀬伊人	月の光	2000(平成 12)年	1820*4860	彩色・紙
津田一江	あのこ(わが心のキアーラ)	1981(昭和 56)年	2050*2050	彩色・紙
津田一江	あのこ(わが心のキアーラ)下図	1981(昭和 56)年	2050*2050	鉛筆・紙
津田一江	横たわる	1983(昭和 58)年	1610*1600	彩色・紙
津田一江	平成四年夏・一江	1992(平成 3)年	1800*2260	彩色・紙
津田一江	平成四年夏・一江(下図)	1992(平成 3)年	各 2150*1140	鉛筆・紙
津田一江	Notre Dame de Paris ゆふさり	2003(平成 15)年	1610*1290	彩色・紙
津田一江	Notre Dame de Paris ゆふさり(下図)	2003(平成 15)年	2020*1305	鉛筆・紙
藤間清	無題	1985(昭和 60)年	735*915	油彩・キャンバス
藤間清	ルーフトップアビニョン	1987(昭和 62)年	910*1170	油彩・キャンバス
藤間清	無題	1989(平成元年)	1320*1630	油彩・キャンバス
藤間清	無題	不詳	800*1000	油彩・キャンバス
真野満	扇面散らし風炉先屏風	1968(昭和 43)年	各 528*2910	彩色・紙
保田春彦	遠い風景C	2001-02(平成 13-14)年	450*154*155	鉄
保田春彦	遠い風景D	2001-02(平成 13-14)年	560*68*80	鉄
保田春彦	遠い風景G	2001-02(平成 13-14)年	360*250*180	鉄
保田春彦	遠い風景I	2001-02(平成 13-14)年	155*570*380	鉄
保田春彦	遠い風景J	2001-02(平成 13-14)年	120*480*180	鉄

## 作品管理 2 貸与作品一覧

■貸出し方針について 他美術館等からの所蔵作品の貸出し要請に対し、開催される展覧会の内容や意義、また作品の状態や常設展示への出品予定の有無などを考慮し、2006(平 18)年度は、上記の作品計 16 点を貸出した。

展覧会名	貸出作品	貸出点数	会場	会期
MOA岡田茂吉賞展	中野嘉之《刻》	1点	MOA美術館	2006.7.7～2006.8.6
有島生馬と一水会展	中村琢二《裸体》中村琢二《裸婦》	2点	佐久市立近代美術館	2006.7.8～2006.9.3
ルノーの見た夢、ルノーに見る夢	工藤甲人《愉しき仲間》	1点	世田谷美術館、愛知県美術館	2006.10.7～2007.2.12
時代と美術の多面体	萬鉄五郎《宙腰の人》	1点	神奈川県立近代美術館 葉山	2007.1.13～2007.3.25
萬鉄五郎展	萬鉄五郎《海景習作》《住吉神社風景》《風景(塀のみえる風景)》《田園風景》《風景》《茅ヶ崎風景》《富士(砂丘風景)》《茅ヶ崎風景》《静物》《湘南風景》《椿》	11点	茅ヶ崎市美術館	2007.1.20～2007.2.25

## VI. 美術館施設の管理

### 施設管理 1 防災訓練・消防設備点検

■防災訓練 実施日時:2006年4月28日(火)9:00～9:30

訓練内容:美術館1階の「市民アートギャラリー厨房」で火災発生、展示室に観覧者25人、ミュージアムホールには45人で、計70人が来館中と想定。学芸員と展示監視員による初期消火、避難誘導および消火器操作訓練を行った。

■文化財防火デー消防訓練 実施日時:2007年1月26日(金)13:00～14:00

訓練内容:平塚市の貴重な財産を火災等の災害から守り、防火防災意識の高揚を図るとともに、火災防御の錬成と消火技術の向上を図ることを目的として、消防署では毎年、文化施設での消防訓練を実施している。平成18年度は美術館で実施することとなり、美術館側としては、災害における初期対応等の訓練を行い、消防隊に協力した。

### 施設管理 2 美術館施設の貸出について

#### ■ミュージアムホール

○講演会、演奏会、映写会、会議等の開催について利用可能(床面積は262㎡、座席数最大150席程度)。

○利用希望者の申込みは一団体(個人)1件とする。

申込手続

○美術館施設利用申込書の提出→審査・許可→使用料納入→美術館施設利用承認書の交付

○受付は利用日の6ヶ月前の日から利用開始7日前まで。9:30～17:00

○ピアノ・マイク等、その他設備の有料貸出しも行っている。

#### 利用日時

○美術館事業で使用していない開館日に限る。利用可能日についてはお問合せください(管理担当 0463-35-2111)。

○利用は半日単位で連続2日間まで。利用時間は、午前が9:30～12:30、午後が13:00～16:50、全日利用が9:30～16:50。

#### 使用料

利用時間帯	平塚市民・団体	平塚市外
午前 ● 9:30～12:30	2,000円	3,000円
午後 ● 13:00～16:50	3,000円	4,500円
全日 ● 9:30～16:50	5,000円	7,500円

※平塚市が協賛または後援する行事の場合の使用料は上記額の半額となる。

### ■市民アートギャラリー

○絵画、彫刻、工芸、書、写真等の美術に関する展示希望者への貸出しが可能。希望者多数の場合は抽選となる。

○施設規模は、天井高が3.5m、床面積(A室)が215㎡、床面積(B室)が149㎡、AB全室利用が365㎡、標準壁面長がA室で68m、B室が57m、AB全室利用で120m。

○利用希望者の申込みは一団体(個人)1件とする。申込み手続きは、受付期間に以下の順序で行っている。

#### 申込手続

○展覧会計画書(館所定の用紙)の提出→審査→抽選・調整→美術館施設利用申込書の提出→使用料の納入→美術館施設利用承認書の交付

#### 受付期間

○10月から3月の間に利用希望の場合:4月1日～10日

9:30～17:00(5月1日～は空室があった場合のみ、利用開始7日前まで)

○4月から9月の間に利用希望の場合:10月1日～10日

9:30～17:00(11月1日～は空室があった場合のみ、利用開始7日前まで)

#### 利用期間と日時

○1日単位で最大1週間(6日間以内=火曜日から日曜日)まで利用可能。時間は9時半から17時まで。

美術館休館日(月曜日定休)は利用不可。

#### 使用料

利用希望場所	平塚市民・団体	平塚市外
全室(1日)	10,000円	15,000円
A室(1日)	6,000円	9,000円
B室(1日)	4,000円	6,000円

※平塚市が協賛または後援する行事の場合の使用料は上記額の半額となる。

### ■アトリエA室・B室

○絵画・彫刻・工芸等の制作希望者への貸出しが可能(床面積はA室157㎡、B室111㎡)。

○利用希望者の申込みは一団体(個人)1件とする。

#### 利用日時

○美術館事業で使用していない閉館日に限る。利用可能日についてはお問合せください(管理担当 0463-35-2111)。

○利用は半日単位で6日間まで ●午前利用が9:30～12:30 ●午後利用が13:00～16:50 ●全日利用が9:30～16:50

○美術館施設利用申込書の提出→審査・許可→使用料納入→美術館施設利用承認書の交付

○受付は利用日2ヶ月前の日から利用開始7日前まで、9:30～17:00です。

#### 使用料

※平塚市が協賛または後援する行事の場合の使用料は上記額の半額となる。

アトリエA	午後 ● 13:00～16:50	1,500円	2,250円
アトリエA	全日 ● 9:30～16:50	2,500円	3,750円
アトリエB	午前 ● 9:30～12:30	700円	1,050円
アトリエB	午後 ● 13:00～16:50	1,100円	1,650円
アトリエB	全日 ● 9:30～16:50	1,800円	2,700円

## VII. 美術館定例会議

### 定例会議 1 美術館協議会

#### 協議会委員一覧 8名 (順不同・敬称略)

新関八紘(ニイセキヤツヒロ) 学識経験者

小宮節子(コミヤセツコ) 学校教育関係者

山梨俊夫(ヤマナシトシオ) 学識経験者

吉田豊香(ヨシダトヨカ) 学校教育関係者

國澤健一(クニサワケンイチ) 学識経験者

長谷川平男(ハセガワヘイオ) 社会教育関係者

朝野哲夫(アサノテツオ) 学校教育関係者

篠塚淳子(シノヅカジュンコ) 社会教育経験者

第1回 日時他 2006年(平18)10月25日(水)/午後2時から美術館研修室にて開催

出席者 委員7名: 新関八紘、山梨俊夫、國澤健一、朝野哲夫、小宮節子、吉田豊香、篠塚淳子

欠席者 委員1名: 長谷川平男

議題 ○平成18年度事業概要 ○平成18年度上半期事業結果について

○平成18年度下半期事業概要について

第2回 日時他 2007年(平19)3月20日(火)/午後2時から美術館研修室にて開催

出席者 委員5名: 新関八紘、山梨俊夫、國澤健一、小宮節子、篠塚淳子

欠席者 委員1名: 朝野哲夫、吉田豊香、長谷川平男

議題 ○平成18年度実績報告 ○来年度(平成19年度)事業計画について

### 定例会議 2 美術品選定評価委員会

#### 選定評価委員会委員一覧 5名 (順不同・敬称略)

荒屋敷透(アラヤシキトオル) 学識経験者      酒井忠康(サカイタダヤス) 学識経験者  
 加藤弘子(カトヒロコ)      学識経験者      水沢勉(ミズサワツトム)      学識経験者  
 田中 淳(タナカアツシ)      学識経験者

日時他 2006年12月19日(火)／13:00～17:00／美術館展示室Iにて開催

議 題 今年度(平成18年度)の寄贈・寄託作品の評価と受入れ収蔵の是非について

## VIII. 平成18年度 美術館施設利用者等の統計

### 統計1 展示観覧者数

月	企画展	特集展	観覧者数計
4月	1,561	2,105	3,666
5月	7,800	6,945	14,745
6月	0	1,340	1,340
7月	0	2,132	2,132
8月	5,137	3,758	8,895
9月	10,150	5,821	15,971
10月	3,947	3,537	7,484
11月	15,432	11,984	27,416
12月	0	1,557	1,557
1月	0	1,216	1,216
2月	0	1,727	1,727
3月	0	1,436	1,436
合計	44,027人	43,558人	87,585人
前年度末	646,528人	571,942人	1,218,470人
開館以来	690,555人	615,500人	1,306,055人

### 統計2 施設利用状況(展覧会・ギャラリー・ホール)

月	開館日数	市民アートギャラリー	ミュージアムホール
		利用日数	利用日数

4月	26	17	6
5月	26	19	3
6月	26	20	6
7月	26	24	9
8月	27	26	4
9月	26	26	0
10月	26	26	4
11月	26	25	3
12月	24	20	9
1月	24	21	10
2月	25	22	4
3月	27	26	10
計	309日間	272日間	68日間

#### 統計4 市民アートギャラリーの利用状況

利用団体と展覧会名一覧 : 2006年4月～2007年3月

月	利用日数	団体数	入場者数 (人)	内 容
4月	17	3	2,307	第12回湘南芸術家協会展、18人会、杉山明和油彩画展
5月	19	6	4,832	第5回記念 玉泉水墨画会展、D52型蒸気機関車写生会回顧展、第35回すさ美会展、高砂香料 OB 趣味の会展、紺秀治作品展、木軸展
6月	20	3	5,333	平塚市展、第一回大磯文化写真連盟写真展、陶芸サロン遊覧会作品展
7月	24	6	4,731	水美日彩会展、第8回パレットの会絵画展、フォト四季10周年記念写真展、第8回楽窯会作品展、クレイ Flower フルール湘南作品展、第24回神奈川県筆友書道連盟公募展
8月	26	5	4,621	平塚書道協会展、第28回心派日本画大展、薫風展(第9回湘南工房陶芸教室作品展)、第22回入木展、公募、第21回湘南市民美術会展
9月	26	6	6,889	2006第42回 JRP 湘南支部写真展、花のあるライフスタイル展、百合の会、田中一瑠展、第6回湘南作家展、第62回平塚美術家協会展
10月	26	5	5,237	オリンパスズイコークラブ湘南支部第9回写真展、湘南窯友の会陶芸展、アトリエ・バンビ・F 絵画教室作品展、平塚市文化祭、語り継ぐ平和展

11月	25	5	13,306	幼少図工作品展、創立35周年 平塚写真連盟展、第8回透彩会 展、爽実展、生命のメッセージ展in湘南平塚
12月	20	4	2,461	第12回旭彩会水彩画展、光の誘い ステンドグラス作品展、第5回 志適会展、第18回 日本画・なでしこ会展
1月	21	5	5,872	波の子造形教室作品展、わたしたちの絵画展、平塚市保育園児童 絵画展、東海大学アート&デザイン展、2007湘南写真家協会写真 展
2月	22	6	4,693	岡村工房陶芸教室展、第16回心創展、中学校美術展、なかよし作 品展、押し花「花みずき会」、アート21第八回油彩画展
3月	26	6	4,022	陶芸クラブ 有雅陶、ひまわりの会展、银杏カルチャー教室絵画発表 展、手創りじゅうたん ダネラ展、第4回湘南画遊展、第13回湘南芸 術家協会展
計	272	60	64,304	

### 統計3 学校団体観覧利用状況

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	6	350	24	10	662	37
	市外	8	569	29	20	1,581	76
中学校	市内	8	31	18	14	71	32
	市外	2	25	3	8	188	16
高等学校		1	4	1	5	56	14
合計		25 日間	979 人	75 人	57 日間	2,558 人	175 人

### 統計5 市民アートギャラリーの入場者推移

平成16年度	61 件	52,370 人
平成17年度	66 件	63,643 人
平成18年度	60 件	64,304 人

総計 187 件 180,317 人

## 統計6 ミュージアムホールの利用状況

月	利用 日数	利用曜日		利用 団体数	入場者数 (人)	内 容
		土・日	その他			
4月	6	5	1	6	400	音楽会5件、市事業1件、「京都国立近代美術館所蔵品展 京都に花ひらく日本画」で使用
5月	3	1	2	3	244	市事業3件、「京都国立近代美術館所蔵品展 京都に花ひらく日本画」で使用
6月	6	3	3	6	395	音楽会3件、市事業3件
7月	9	5	4	9	628	音楽会6件、市事業2件、授賞式1件
8月	4	2	2	5	285	音楽会4件、会議1件、「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」で使用
9月	0	0	0	0	0	「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」で使用
10月	4	2	2	4	300	音楽会2件、市事業2件、「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」「日本画の巨匠 山本丘人展」で使用
11月	3	1	2	3	240	市事業3件、「日本画の巨匠 山本丘人展」で使用
12月	9	8	1	9	580	音楽会8件、講演1件
1月	10	5	5	10	559	音楽会4件、市事業5件、研究会1件
2月	4	1	3	4	340	音楽会1件、市事業3件
3月	10	7	3	10	650	音楽会9件、市事業1件
計	68	40	28	69	4,621	

## IX. 平塚市美術館の沿革

### 沿革 1971年～2007年3月までの動き

#### 1971年(S46)

11月〇フクスケ画廊2周年記念パーティに集った作家たちより「平塚市へ美術館建設の要望をすること」の申請なされる。  
加藤一太郎市長、平野博収入役より「一作家一点寄贈運動」の提案。

#### 1977年(S52)

3月〇新設された平塚市博物館で「平塚市所蔵美術展」の開催、あわせて『平塚市所蔵美術品目録』の発行。  
9月〇企画展「鳥海青児と昭和の画家たち展 神奈川芸術祭」(神奈川県立近代美術館共催)、会場は平塚市博物館。

#### 1982年(S57)

5月〇社会教育委員会議長名で「平塚市美術館建設について」の建議が教育長宛になされる。

#### 1984年(S59)

4月〇石川京一市長が美術館建設を公約として、市長選2期目に再選される。  
5月〇「美術館建設研究委員会」発足(庁内組織 委員長:山本桂一郎 教育委員会指導部)。  
9月〇平塚美術協会が「平塚市美術館早期促進建設の為の陳情書」を市に提出。

#### 1985年(S60)

7月〇「平塚市美術館基本構想策定委員会」設置(～1986年まで全8回開催)。  
※構成委員は次の通り。落合良延、陰里鉄郎、匠秀夫、田中穂、原田実、平野博、升水滋、水島英耀、湯井勝(敬称略)。

#### 1986年(S61)

3月〇「平塚市美術館基本構想策定」答申。湘南の中心に位置する美術館として、メインテーマを「湘南の美術・光」とする。  
4月〇「美術館建設基本計画策定連絡協議会」の設置(庁内組織)。  
〇「第1回平塚市美術品選定評価委員会」の開催(於 平塚市博物館)。  
9月〇「平塚市美術館新築設計技術提案審査会」発足。プロポーザル予備審査会、本審査会を開催し、9社からの提案を審査。

#### 1988年(S63)

1月〇大蔵省との美術館建設用地払い下げ契約完了。株日建設と委託契約。  
4月〇「平塚市教育委員会指導部美術館建設準備室」として博物館から独立、設置。

#### 1989年(H元)

3月〇「仮称平塚市美術館建新築工事(本体工事費)」の議決なされる。  
7月〇14日「平塚市美術館建設」起工。仮称平塚市美術館新築工事安全祈願祭に石川市長をはじめ関係者約70名が出席。

#### 1990年(H2)

10月〇「平塚市美術館本体工事」竣工。  
12月〇「平塚市美術館条例」公布。

#### 1991年(H3) ■平塚市美術館開館

3月〇美術館のシンボル彫刻《コンストラクション#115》ホセ・デ・リヴェラ作の搬入設置。  
3月〇25日:平塚市美術館開館(初代館長に原田実氏が就任)、記念式典の開催。26日より一般公開開始。  
開館記念展「スイス プチパレ美術館名品展—タルコフとエコール・ド・パリの画家たち—」～5月5日まで。  
5月〇18日:開館記念展「湘南の萬鉄五郎」～6月16日まで。  
7月〇「平塚市展」はこの第14回展以降毎年、平塚市美術館展示室と市民アートギャラリーで開催。

#### 1992年(H4)

- 3月○「市制60周年記念 相模の禅僧 風外慧君作品展 平塚市博物館所蔵・高瀬コレクション」開催:3月20日~4月19日。  
7月○第15回平塚市展から「美術館賞」の設定、審査は館長が行う。  
11月○「市制60周年記念 田中真洲回顧展」開催:11月14日~12月13日

#### 1993年(H5)

- 7月○博物館実習生の受け入れを開始。

#### 1993年(H6)

- 3月○教育普及活動関連冊子ワークショップオリジナルブック「読むワークショップ」の刊行開始(年2冊~1999年)。

#### 1995年(H7)

- 4月○教育普及活動において、市民参加型長期プログラム「ワークショップクラブ」発足。

#### 1996年(H8)

- 11月○開館5周年記念展「ミレーとバルビゾン派の画家たち」開催:11月9日~12月22日。  
10月○美術館内における総合的な地震対策の開始:彫刻転倒防止措置、スポットライト落下防止措置等。

#### 1997年(H9)

- 4月○2代目館長に福田徳樹氏(フタトヨキ)就任。

#### 1999年(H11)

- 5月○常設展示を発展させた、所蔵品による「特集展示」の企画開始。

#### 2000年(H12)

- 7月○「第50回湘南ひらつか七夕まつり歴史回顧展」開催:後援に冷泉家時雨亭文庫  
10月○平塚市神奈川大学交流提携10周年記念「開港期の神奈川・世界が見た日本」展開催。

#### 2001年(H13)

- 7月○開館10周年記念展「湘南の美術・光—美術館建設運動から開館10周年まで」開催:7月26日~9月30日

#### 2002年(H14)

- 2月○開館10周年記念展「日本画の巨匠 安田靉彦—歴史画の魅力」開催:2月9日~3月24日  
4月○「平塚市美術館友の会」発足。  
11月○市制70周年記念「原精一 人間表現の魅力」展開催:11月2日~12月23日

#### 2003年(H15)

- 2月○「神奈川大学図書館所蔵 パリ・コミュニケーションの風刺画 —1871年ペンと大砲の市民革命」展開催:2月2日~3月30日  
※平塚市・神奈川大学交流事業 地域コレクションシリーズⅢ

#### 2004年(H16)

- 4月○3代目館長に、草薙奈津子氏(クサキナツコ)就任。

#### 2006年(H18)

- 1月○展示室可動壁のクロス張替え作業(1月~3月休室)。  
9月○皇后美智子様、「開館15周年記念 世界絵本原画展」をご鑑賞。  
10月○「開館15周年記念 日本画の巨匠 山本丘人展」開催。

## X. 美術館の組織・運営

	館長	副館長	管理担当	学芸担当	計
常勤		1人	5人	6人	12人
非常勤	1人		1人	1人	3人

■美術館組織図：2006年4月～2007年3月



## ■平塚市美術館概要

■名称 平塚市美術館 THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART

■所在地 神奈川県平塚市西八幡 1-3-3 〒254-0071

■電話等 TEL:0463-35-2111/FAX:0463-35-2741

E-mail : [art-muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:art-muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp)

■開館時間 9:30~17:00 (入場は16:30まで)

※夏季の開館時間延長あり。お問合せください。

■観覧料 常設展：一般 200 円/高大生 100 円/小中生無料

※団体料金は 20 名以上で 2 割引 ※市内在住の 60 才以上の方無料

※企画展はその都度、料金設定(インターネット割引券制度あり)

■休館日 月曜日(祝日は開館で翌火曜日休館)/年末年始/展示替期間(不定期)

■交通 電車で● JR 東海道線平塚駅東口北側、西口北側から徒歩約 20 分。

バスで● ①JR 東海道線 平塚駅東口北側 10 番のりばから――

神奈川中央交通バス・田村車庫行きなど、美術館入口で下車、歩 2 分。

②小田急小田原線 本厚木駅南口から――神奈川中央交通バス・平塚駅行き、日産車体前で下車、歩 3 分。

③小田急小田原線 秦野駅南口から――神奈川中央交通バス・平塚駅行き、横浜ゴム前あるいは市役所前で下車、歩 5 分。

④小田急小田原線 伊勢原駅南口から――神奈川中央交通バス・平塚駅行き、横浜ゴム前あるいは市役所前で下車、歩 5 分。

自動車で● ①東名高速・厚木方面から――国道 129 号線、大野右折後すぐ左折し平塚駅方面へ、県合同庁舎前を右折。

②茅ヶ崎方面から――国道 1 号線、馬入橋をわたり宮の前を右折、県合同庁舎前を左折。国道 134 号線からは新湘南大橋をわたり高浜台右折、東海道線のガードをくぐり榎木町左折、国道 1 号線、宮の前右折、県合同庁舎前左折。

③小田原方面から――国道 1 号線、崇善小学校東左折、平塚警察署入口右折。国道 134 号線からは八間通り入口左折、県道 61 号線、検察庁前右折、国道 1 号線、崇善小学校東左折、平塚警察署入口右折。

④秦野方面から――県道 62 号線(平塚秦野線)、東雲橋左折、平塚郵便局前左折、平塚警察署入口右折。

⑤伊勢原方面から――県道 61 号(平塚伊勢原線)、追分左折、平塚郵便局前左折、平塚警察署入口右折。または県道 606 号(大島明石)線、平塚警察署入口左折。

## ■施設

①レストラン「ラ・パレット」/tel (fax) 0463-34-5624/営業時間 10:00-20:00

〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡 1-3-3 平塚市美術館内

定休日：月曜(月が休祭日では営業、翌日振替え定休)

②備品：車椅子 2 台/ベビーカー 1 台/車椅子用トイレ設備

③駐車場：有り(約 70 台)

④貸出施設：市民アートギャラリー、アトリエ、ミュージアムホール

## ■建築概要

規模 ○敷地面積 12677.57 m<sup>2</sup>/延床面積 7181.39 m<sup>2</sup>/建物高 15.8m

①展示部門 2009 m<sup>2</sup> ②収蔵部門 1163 m<sup>2</sup> ③研究部門 373 m<sup>2</sup> ④教育普及部門 704 m<sup>2</sup>

⑤サービス部門 1014 m<sup>2</sup> ⑥管理部門 542 m<sup>2</sup> ⑦共通部門 1376 m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート

---

平成 18 年度 (2006.4.~2007.3.)

## 平塚市美術館年報

編集/発行 平塚市美術館 神奈川県平塚市西八幡 1-3-3 〒254-0073

TEL: 0463-35-2111 FAX: 0463-35-2741 月曜定休

E-mail : [art-muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:art-muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp)

---